

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	香川せつ子	所属・職名	子ども学部・子ども学科・教授	
専門領域	教育学、教育史	学位称号	文学士 1972 (昭和 47) 教育学修士 1984 (昭和 59)	
最終学歴	津田塾大学学芸学部英文学科卒業 広島大学大学院教育学研究科教育学専攻 (博)			
資格・免許等				
教育上の能力に関する事項				
担当科目	学部：教育原論、教育制度論、生涯学習論、ジェンダー論、子ども学演習 大学院：生涯学習特論、特別研究			
教育方法の実践例	1.教育方法の実践例 「教育原論」は、抽象的な内容になりがちな科目であるため、パワーポイントを使用し、写真や図表など学生の視覚にも訴えて興味を喚起し、思想的概念や歴史的事象等についても、わかりやすく説明する工夫をしている。			
教材の開発	「教育制度論」では、新聞記事を活用し、学校現場の問題や教育改革の動向、それらに対する教師や識者の意見等を紹介して、学生に考えさせる授業をめざしている。			
教育改善活動等	「ジェンダー論」では、政府機関等が実施した調査、各種データ、新聞記事を活用し、現代の社会問題をジェンダーの視点から捉えて考えさせる授業をめざしている。学生による発表を取り入れている。数回の小レポートにより学習の振り返りをさせている。またグループ討議の時間を設け、学生同士の意見交換や発表の機会をつくっている。			
	「生涯学習論」では、生涯学習施設の見学やグループ発表等を取り入れ、学生の内面に生涯学習に対する実践的な関心を高め、理解を深める工夫をしている。			
	2.教材の開発 教科書『西洋の教育の歴史』を分担執筆し、授業でも使用している。その他、すべての授業で、パワーポイント教材や各種プリント、新聞切り抜き、ワークシートを作成し活用している。			
	3.教育改善活動等 全学FD委員会の委員として、FD研修会等を企画運営した (平成 19年度～23年度)。 大学院FD委員会委員として、学修環境に関するアンケート調査を実施した。また研究科長 (平成 20～21年度) として「よりよい大学院教育をめざして—FD活動、TA活動報告書」を作成した。			
職務上の実績に関する事項				
研究業績等に関する事項				
《平成19年度～平成23年度》				
著書・学術論文等の名称 (著書)	単著・ 共著の 別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月	
1.『教育史研究の最前線』			平成 19年 3月	
2.『女性と高等教育—機会拡張と社会的相克』	共著	日本図書センター	平成 20年 7月	
3.『西洋の教育の歴史』	共著	昭和堂	平成 21年 3月	
4.『人間学から福祉学を発見する』	共著	ミネルヴァ書房	平成 21年 9月	
5.『女性と身体教育』 (19～20世紀初頭英国文献集成 ・別冊日本語解説)	共著	あいり書房	平成 23年 12月	
6.『子ども学のすすめ』 (学術論文)	単著	ユーリカ・プレス		
1.「イギリスにおける女性医師養成の嚆矢—ロンドン女子医学校 1874—1884」	共著	佐賀新聞社	平成 24年 2月	
	単著	『西九州大学・佐賀短期大学紀要』第 37号	平成 19年 3月	

2. 「イギリスにおける女性のアカデミック・プロフェッションの生成と展開—1880年から1930年までを中心に」	単著	『西九州大学子ども学部紀要』第1号	平成22年3月
3. 「イギリスの大学における女性大学教員の初期の動向—1880年代から1920年代までのケンブリッジ大学を中心に」	単著	『西九州大学子ども学部紀要』第2号	平成23年3月
4. 「19世紀末イギリスの大学における女子学生の健康問題—オックスブリッジ卒業生への健康調査統計を中心に—」 (学会発表)	単著	『西九州大学子ども学部紀要』第3号	平成24年3月
1. 「世紀転換期イギリスにおける大学卒女性のキャリア—ケンブリッジ大学を中心に」	単独	九州教育学会第59回大会	平成19年12月
2. 「世紀転換期イギリスにおける大学卒女性のキャリア—ケンブリッジ大学ガートン・カレッジの場合」	単独	第32回大学史研究セミナー	平成19年12月
3. 「イギリスにおける女性のアカデミック・プロフェッション 1880-1930」 (報告書)	単独	第34回大学史研究セミナー	平成21年12月
1. 「英国における高等教育修了女性のキャリア形成に関する歴史的研究」(平成18-19年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書)	単著	西九州大学	平成20年3月
2. 「イギリスにおける女性のアカデミック・プロフェッションに関する歴史的研究」(平成20~22年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書) (書評)	単著	西九州大学	平成23年3月
1. 滝内大三著『女性・仕事・教育—イギリス女性の近現代史』	単著	『大阪経済大学論集』59号-3	平成20年9月
2. Dinah Burch, <i>Our Victorian Education</i>	単著	『ヴィクトリア朝文化研究』第6号	平成20年11月
3. 滝内大三著『女性・仕事・教育—イギリス女性の近現代史』	単著	『教育学研究』75号-4	平成20年12月
4. 小山静子著『戦後教育のジェンダー秩序』 (資料編集)	単著	『女性史学』20号	平成22年
1. <i>Women's Body, Health, and Physical Education in Nineteenth to Early Twentieth-Century Britain, Vol.1~Vol.25</i> edited and introduced by Setsuko Kagawa	単独	Eureka Press	平成23年12月

研究助成等	1. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) 平成18年度~平成19年度 「イギリスにおける高等教育修了女性のキャリア形成に関する歴史的研究」(研究代表者 香川せつ子) 2. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) 平成20年度~平成22年度 「イギリスにおける女性のアカデミック・プロフェッションに関する歴史的研究」(研究代表者 香川せつ子) 3. 西九州大学健康福祉研究センター・教育研究「『実践の知』としての子ども学の構築」平成21年度~平成23年度(研究代表者 香川せつ子)
-------	---

学会及び社会における活動等

平成18年度~平成23年度 佐賀県男女共同参画推進審議会委員 平成19年度~平成21年度 神崎市男女共同参画基本計画策定委員会アドバイザー 平成20年度~平成22年度 吉野ケ里町男女共同参画基本計画策定委員会アドバイザー 平成21年度~平成23年度 佐賀県青少年健全育成審議会委員 平成22年度 佐賀市教育基本計画策定委員会委員 平成22年度 佐賀県立男女共同参画センター・アバンセ 調査研究専門委員会委員 平成23年度 佐賀市教育委員会第三者評価委員会委員 (所属学会) 日本教育学会、教育史学会、日本西洋史学会、ヴィクトリア朝文化研究学会、日英教育学会 イギリス女性史研究会(副代表)、大学史研究会
